

白川静博士没後十年企画 記念講演会

漢字と書

- 日中韓のはざまと女性 -



書家：華雪（かせつ）

1975年京都府生まれ 書家
立命館大学文学部哲学科心理学専攻卒業
1992年より個展を中心にした活動を続ける（文字を使った表現の可能性を探る）ことを主題に国内外でワークショップを開催
舞踏家など他分野の作家との共同制作も多数

（写真：志鎌康平）

白川静博士没後十年企画として、日中韓に関する女性研究者による鼎談を開催します。三カ国における漢字事情や白川文字学などについて、楽しい語らいをお聞きください。また、華雪氏には漢字への理解や思いを込めた書の揮毫実演をしていただきます。

背景：古代文字（白川静先生直筆色紙より）

入場無料
申込不要

2017年12月16日 [土] 11:00-13:00

立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム



張 莉（ちょうり）

1968年生まれ 中国天津市出身
大阪教育大学教育学部特任准教授
白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員
書道文化・中国語を教える傍ら漢字を中心とする中国・日本の文化史を研究している



金津 日出美（かなづ ひでみ）

1968年三重県生まれ
韓国新羅大学校専任講師・高麗大学校副教授を経て
立命館大学文学部准教授
日中韓の学生に日本文化を教える一方、近代東アジアを移動した人びとの貧困・抑圧・病いについて研究している

【問合せ】立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所事務局 TEL 075-465-8225

主催 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所
共催 立命館大学男女共同参画推進リサーチライフサポート室